

「研究テーマを一言で」

森林^{もり}の動きを捉える

専攻：森林・環境資源科学専攻

学科：生物環境科学科

研究室：森林生態学研究室

氏名：中川弥智子



『研究キーワード』

森林動態、繁殖生態、生物多様性、樹木群集、人為攪乱、自然攪乱、熱帯雨林、熱帯季節林、更新動態、長期モニタリング

『研究シーズ・スキル』

様々な森林での固定試験地における樹木長期データの管理・収集

『WEB サイト』

研究室 HP: <https://www.agr.nagoya-u.ac.jp/~seitai/index-j.html>

○ 研究テーマ 1：森林動態とそれに影響を与える要因の解明

森林の中に設置した固定試験地で、長期にわたり樹木調査を繰り返すことで、樹木の成長速度や枯死率（森林動態）を捉えることが出来ます。これらのデータから炭素固定量といった森林の機能を推定できるだけでなく、森林動態に影響を及ぼす環境要因を特定することで、温暖化や乾燥化に対する森林の応答予測につなげることを目指しています。



○ 研究テーマ 2：繁殖成功や更新動態に着目した生物間相互作用の解明

開花・結実・種子散布・実生定着といった、樹木の世代更新に関わる繁殖過程の成否は、様々な他種の動物との相互作用の中で決まります。花粉媒介者によって送粉されないと成熟種子は生産されませんし、種子は散布動物によって定着適地に運ばれないと、生残確率が下がってしまいます。また、発芽した実生は植食動物に食べられてしまうこともあります。このような生物間相互作用や樹木の更新動態を左右する要因の解明を通して、生物多様性の評価や森林の保全・維持管理手法の提案を目指しています。

